

大会ルールの概要

Outline of Rules Governing Competitive Events

参加車両は、学生が構想・設計・製作したもので、2006FSAE®の規定を満たすこと。過去の大会に参加した車両のフレームは使用できない。車両の構成部品についても、安易に市販品等を用いるのではなく、できる限り学生自ら製作することをモットーとする。また、プロの技術者・研究者の情報を利用すること、設計の基礎・安全に車両を製作するための方法に関する指導・支援を受けることは許容するが、設計仕様を決定したり設計図を書いてもらうことは許容しない。

安全面については厳格で緻密なルールにしているが、学生たちの知識、独創性、構想力が大いに発揮できるように、安全要件を除いた設計上の制約は必要最小限にしている。

参加資格は、大学院、大学、短大、高専、又は短大相当の専門学校の18歳以上の学生が対象。なお、競技会の7カ月前までに卒業した者は参加資格を有する。

【主な設計要件】 Design Requirements

- ①タイヤがカウルで覆われてなく、コクピットがオープンなフォーミュラスタイルの車両であること。
- ②4サイクルピストンエンジンで排気量610cc以下。オリジナル設計の過給機の装着は可。
リストラクター（吸気制限装置）の最大直径は20mm。使用燃料は100RON（リサーチ法オクタン価）の無鉛ガソリンとする。
- ③ホイールベース1525mm以上。トレッドは、フロント又はリアの大きい方に対して75%以上。ホイールは8インチ以上。
- ④排気音量は、排気口から水平面45度、50cmの位置で110dB以下（所定の回転数）。

【主な安全要件】 Safety Requirements

- ①横転・正面衝突・側面衝突時にドライバーを保護するために、メインフープ、フロントフープ、フロントバルクヘッドおよびこれらのブレースやサポート、側面衝突保護構造体などについて構造・材料などの詳細を規定。
- ②車両前端からメインフープ又は防火壁の間のドライバー区画に開口部がないこと（コクピット開放部に関して定めることは除く）。
- ③衝突エネルギーを吸収する装置として、フロントバルクヘッドの前にインパクトアッテネータを取り付けることを規定。
- ④ドライバー安全規則として、拘束システム（5又は6点式シートベルト）、保護用具（ヘルメット、スーツ、手袋、シューズなど）、視界、ヘッドレスト、ドライバー脱出時間（5秒以内）、横転限界角度、防火壁、消火器、ドライバーの脚・足の保護等について詳細を規定。
- ⑤ブレーキは4輪すべてに作動し、独立した2系統の液圧回路を有すること。ブレーキの踏みぬけのような事態が発生した時にそれを検知しエンジンを停止させるオーバートラベルスイッチを装備。

【主な競技要件】 Competition Requirements

- ①静的競技のうちコストと設計については、所定のコストレポートと設計レポートを大会の約2カ月前提出を義務づけ。未提出の場合は、コスト審査は-100ポイント、設計審査は0ポイントとなる。
- ②車検に合格し、車検ステッカーが貼られた車両でなければ、プラクティス走行および動的イベントに参加できない。
- ③動的競技は、一人のドライバーが二つまでの競技を運転することができる。エンデュランスと共に燃費も評価するが、これは一つの競技としてカウントする。一つの競技で4回試技する際は、二人のドライバーが2回ずつ試技する。